

令和6年度「世界トライアスロン横浜大会」に関するアンケート 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

アンケート結果を鑑みる等して、2025 世界トライアスロン横浜大会開催において市民向けに新たに次の施策を実施しました。

- ・従来、非公開としていたトップアスリート部門出場選手の記者会見を市庁舎アトリウムで市民に公開した形で実施（5/15）。
- ・市庁舎展示スペースを活用した大会のPR（5/13-18）。
- ・市庁舎展示スペースを活用した大会のPR（5/13-18）。
- ・コスモクロック 21 による大会の特別演出（5/9-18）
- ・小学生と保護者を対象とした「ファミリーFUN ラン」の実施（5/17 ※悪天候により中止）
- ・小中学生を対象とした「ポンツーンウォーク&稚魚放流」の実施（5/18）

2 アンケートを実施した感想

Q1で世界トライアスロン横浜大会を知っているかお聞きしたところ、「知っている（内容も知っている）」と回答された方が39%と想定よりも認知度が高く、またQ3で世界トライアスロン横浜大会について知っていることをお聞きしたところ、開催時期や場所（77.2%）をはじめ、シリーズ戦であること（34.0%）やエリート競技とエイジ競技を開催していること（33.8%）、NHK BSでテレビ放映していること（30.9%）や、海の水質改善への貢献（26.1%）等に一定の認知度があることがわかりました。15回続けて開催してきた成果の表れと受け止めています。

一方で、Q4の大会への関わりについては、8割以上の方がこれまで関わりをもったことがないことがわかりました。Q17においても、半数近くの方が大会への期待として「トライアスロンの魅力を感じられる取組（観戦招待、会場での解説等）」を選択していることから、大会における競技の魅力を市民に伝えることで、観戦やボランティア等での参加を促すような取組を行う必要性を感じました。

3 担当部署のe アンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

大会に関する率直なご意見をいただくことができ、大変参考になりました。今後も、市民の皆様にとって魅力的で価値ある大会となるよう、引き続き努めていきます。

担当：にぎわいスポーツ文化局スポーツ振興課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。